

今回のイベントに関連する吉田松陰の行動

嘉永6年(1853)

1月	26日	長州萩を出発。萩から江戸に至るまでの旅を日記「癸丑遊歴日録」に書き残します。
2月	10日	舟にて兵庫より発し、午後到大坂の安治川口に到着。常安橋の下で碇をおろす。夜、舟より上陸し高松藩蔵屋敷内にある「金毘羅宮」を詣で、舟にて宿泊。
	11日	桃谷(大阪市中央区安堂寺町または上本町西周辺)に屋敷がある坂本鉉之助(萩野流砲術家坂本天山の子)を訪問。大坂城を一周し、四つの門(大手門、玉造門、青屋門、京橋門)を見る。
	12日	森田節齋(謙蔵)を訪れるため上陸し大和五条を目指す。高津宮に参拝。四天王寺→平野→大和川→藤井寺→野中→古市→春日→竹内(たけのうち)峠→山田村→竹内村。竹内村で宿泊。
	13日	竹内村→今市→新所(新庄町)→五条。森田節齋宅に到着するが、節齋は堤孝亭に出向いていて不在。松陰は節齋を追って堤孝亭邸を訪問。節齋に会う。
	14日	森田節齋、増田久左衛門と同行して富田林の仲村徳兵衛宅を訪問し、同所で23日まで宿泊。
	14日~22日	仲村邸に留まり滞在。
	23日	森田節齋に同行して岸和田へ出発。富田林→小坂→南野田村→土生(はぶ)→岸和田。宿所(本町の塩屋甚兵衛邸)に入る。2月23日から3月3日まで岸和田に滞在。夜、相馬九方の寓居先である岸和田藩校「講習館」を訪問。相馬九方と午前2時まで対談。
	24日	相馬九方が松陰の宿所を訪れる。夜、相馬九方寓居先を再訪。九方と長時間の対談。宿所には翌朝の午前10時に戻る。
	25日	岸和田に滞在。
	26日	相馬九方寓居先を訪問。同所で岸和田藩七庄屋のうちの一人である岸 琴泉(長太郎)に会う。また、岸和田滞在中に岸和田藩士 岡部十左衛門、古屋惣兵衛、濱田雄二郎、宮崎要人。さらには泉州岡田浦の医師である山田文英と会う。
	27日~28日	岸和田に滞在。
	29日	岸和田藩校「講習館」の館長 三宅源之丞を訪問。
	30日	岸和田に滞在。
	3月	1日
2日		岸和田に滞在。
3日		岸和田を出発。熊取の中 左近邸を訪問し同所で宿泊。5日まで滞在。
4日		熊取の中家滞在。
5日		熊取を出発し泉州岡田の山田文英邸を訪問し同所で宿泊。17日まで滞在。
6日~16日		岡田の山田文英邸に滞在。
17日		泉州岡田を出発。佐野→貝塚→岸和田。堺に到着。宿泊先不明。
18日		増田秀齋、小林新介を訪問。午後、富田林に到着し同所に30日まで宿泊。
30日	富田林を出発。大坂に到着。南波邦五郎邸に宿泊する。4日まで滞在。	

4月	1日	後藤松陰(春蔵)と泊園書院の藤沢東咳を訪問。
	2日	坂本鉦之助と奥野弥太郎(遠藤但馬守の家臣)を訪問。
	3日	後藤松陰(春蔵)を訪問。
	4日	大坂を出発。八木の谷 三山邸を目指す。途中、大和高田で宿泊。
	5日	八木に到着。谷 三山に会う。
	6日	五條に向かい堤 孝亭邸にて宿泊。同所に21日まで滞在。
	21日	五條を出発。田井庄の藤井隆菴邸に投宿。25日まで滞在。 谷 三山の弟子 森哲之助邸を訪問。
	22日	森哲之助邸を訪問。
	25日	田井庄を出発し五條へ帰る。宿泊先は堤 孝亭邸か？ 五條に5月1日まで滞在。
5月	1日	五條を出発し田井庄へ向かい再度、藤井隆菴邸に投宿。 森哲之助邸を訪ねる。
	2日	田井庄を出発し、森哲之助の嫡子 吉太郎を従えて八木の谷 三山を 訪ねる。谷 三山邸で宿泊か？
	3日	八木を出発。俵本(田原本)→大和郡山。
	4日	郡山の藤川禎二を訪れる。昼から郡山を出発し奈良に向かう。垂井の 小刀屋善助邸にて宿泊。 春日大社を参拝。奈良の大仏を拝む。
	5日	奈良を出発。山城の国に入り、加茂→笠置→島原→上野。 上野にて宿泊。
	6日	上野を出発。山田→平松→長野。伊勢湾の海を見る。長野→三軒茶 屋→片田→津。津の堅町にて宿泊。延岡藩 三宅喜太郎と同宿。

